

Q&A

腹腔鏡下手術って何ですか。

Q 医師から鼠径ヘルニアと診断され、手術が必要であると説明を受けました。腹腔鏡下手術を選択するようですが、これはどのような手術ですか？

A 鼠径ヘルニアは、下っ腹や足の付け根付近の鼠径部で起こり、「脱腸」とも呼ばれています。手術が唯一の治療法で、大まかに2つの方法があります。1つ目は鼠径部を切開して開腹する方法、2つ目は



太田勝也 医師
ヘルニアセンター長

は腹腔鏡下手術です。どちらも鼠径ヘルニアを治療することを目的に開発されていますが、特に腹腔鏡下手術は傷が小さいため細菌感染を防ぎ、出血が少ないので術後の痛みも軽くなります。もし鼠径ヘルニアが左右両方にできた場合でも手術は同じ傷口から可能なため、キズが小さく日常生活に早く復帰できるメリットがあります。

学会が発表している腹腔鏡下手術のデータを見てみると、20年前に比べて再発率は1/5程度に改善されていることから、鼠径ヘルニアを治療するために優れた手術方法と言えます。私はこれらのメリットを最大限に生かして腹腔鏡による手術を選択しております。しかし腹腔鏡下手術にもデメリットがあります。これは次回11月26日号で説明いたします。

気になる方やご家族で気にしていらっしゃる場合は、医

療機関への受診をお勧めします。現在お悩みの症状を一刻も早く治し、元の生活に戻ることができるとを願っております。

取材協力) 外科・日帰り手術センター

太田医院

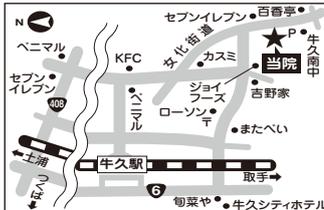
そけいヘルニアセンター

<https://otaiin.com>

牛久市さくら台1丁目18-2 (P25台)

☎029-874-2281

休診日/日・祝日・第2木曜日
診療時間/9:00~12:00 15:00~18:00 (木・土曜午前診)



JR常磐線牛久駅より車で9分